

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	かがやきこども園 単位1		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 15日		～ 令和8年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 15日		～ 令和8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・親子支援ができているところ	・未満児～年中児まで午前支援をしている。 ・親子支援をすることで、ご家庭や所属園での子どもさんの様子を共有させていただき、子どもさんに合った関わり方や対応をお家庭でも取り組んでいただくことができる。	・研修や支援技術の向上目指し、支援に専門的な要素を取り入れていく。 ・親御さんとのコミュニケーションを大切に、いつでも相談しやすい場所としてあり続ける。
2	・保護者同士の交流ができる	・同世代の親御さんや、子育て先輩の親御さんと交流することでお互いに理解し合えたり、就学や育児の相談等、情報を交換することができる。 ・交流の際は、子どもさんはスタッフがお預かりする。	・お父さん同士や、お母さん同士の交流の時間なども考えご家族皆さんで子どもさんを理解し、応援できる環境を整えて行く。 ・他のグループとの交流も計画していく。
3	・少人数でのグループ編成	・お一人お一人とじっくり関わりながら、子どもさん一人一人に合わせて支援を進めることができる。	・関係機関や関係者の方との情報の共有を図るために、所属園への見学や、医療機関でのリハビリの様子等への見学を行っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援前後の振り返り時間の確保が十分とは言えない。	・職員全員が揃う検討会やミーティングの時間が少ない。時間制約というより業務全体の組み立てや優先順位付けの整理が不足。 ・短時間で効果的に行うための型や視点が共有されていない。	・支援のない時間帯の有効活用。あずかり支援の実施状況を踏まえつつ、役割分担して時間を生み出す工夫をしていく。 ・短時間でできるフォーマットの導入を考えていく。また、記録作成と振り返りを連動させるなど、業務を一体化するなどの工夫をしていく。
2	・専門的な知識や支援技術の獲得が十分とは言えない。	・何をどこまで学べばいいのかの指標がない。 ・知っている人は知っている状況がある。暗黙の了解についての言語化が不足している。 ・研修で学んだことを現場で試す機会や仕組みが少ない。	・職員各自での疑問や支援児の課題について調べたり、教材を作成したり、研修をしたりする時間の確保をし、職員間で研修等で得た知識を共有し、学んだことを発表する場を作っていく。 ・職員育成の見える化をする(基本スキルのチェックリスト等)。 ・現場の困りごとを題材にミニ研修を定期的実施する。
3			